

讃謳我未来

～ 進路指導室だより ～

鹿児島県立曾於高等学校

第44号

令和3年5月21日（金）発行

○「讃謳我未来」の意味は？

「讃え 謳おう 我らの未来」♪

これは曾於高校の校歌の3番の歌詞の一節であることに気づいた生徒が何人いたのでしょうか？この歌詞には「曾於高校生が仲間たちと切磋琢磨し、自己を高め、高校3年間で充実させ、輝かしい未来へと羽ばたいてほしい」という願いが込められています。勉学・部活・学校行事に励む中で、一日一日成長し、進路先（未来）で活躍できる（力強く羽ばたける）力を身につけ、校歌の歌詞を体現してほしいと思います。



○進路希望調査の結果（4月実施）

多くの生徒がなかなか進路を決められずに悩んでいることでしょう。しっかりと自分と向き合い、今までしてきたことを振り返ったり、何がしたいのか自分に問いかけ掘り下げたりして、**自己分析を進めてほしい**と思います。加えて、世の中の動きを捉え、**今後社会において何が求められるようになるか**を考えることも大切です。具体的に、志望する学校・大学・企業が決定すれば、進路実現に向けてモチベーションも上がり、準備を進めることができます。

	1年	2年	3年
進学	52.2	45.1	50.3
就職	44.0	48.9	47.7
未定	3.8	6.0	2.0

（単位は％）

○答えがわかりますか？

【進学を希望する者へ】

- Q1. 大学と専門学校の違いは何ですか？
- Q2. 令和2年度に変更された入試区分と、それらの評価事項は何ですか？
- Q3. 上級学校の初年度納入金はいくらですか？
- Q4. 曾於高校の推薦条件は何ですか？

【就職を希望する者へ】

- Q1. 採用選考のスケジュールはどのようになっていますか？
- Q2. 曾於高校の推薦条件や、校内選考で確認する項目は何ですか？
- Q3. 応募前職場見学の実施時期はいつですか？
- Q4. 筆記試験で出題される割合が高い上位3教科は何ですか？（令和2年度の受験報告書より）

【公務員を希望する者へ】

- Q1. 高校生が受験できる自衛官の職種には、どのようなものがありますか？
- Q2. 自衛官以外の公務員試験独特かつ重要な出題科目には何がありますか？

※上記の質問は、「進路の手引き」に載っている内容から出題しました。答えがわからなかった人は必ずチェックしましょう。

○令和2年度卒業生の進学・就職の状況

進学者（人） 6 1 %						就職者（人） 3 9 %					
4 年生 大学	国 公立	県内	29	14	4	一般 企業 ・ 就農	県内	大隅 管内	52	28	21
		県外			10			大隅 管外			7
	私立	県内		15	4		九州 内	都城 市内		17	13
		県外			11			都城 市外			4
短期 大学	国 公立	県内	15	2	2		関東			7	1
		県外			0		関西				
	私立	県内		13	6		中京				4
		県外			7		中四国				0
専門学校等		県内	47	11	国家公務員		2	0			
		九州		32	地方公務員			0			
		九州外		4	自衛官			2			
計			91		計			54			
就職進学			2								
その他			1								
総数			148								

※大隅管内とは曾於市・志布志市・曾於郡（大崎町）を指します。

※具体的な学校や企業の名称は、本校ホームページや学習の手引きで確認することができます。

○受験体験記（令和3年3月卒業 畜産食農科5期生）

鹿児島県立農業大学校 農学部野菜科

私には将来の夢がありませんでした。高校入学のタイミングで、「お菓子が作れるから」という理由だけで、曾於高校畜産食農科を勧められ、流されるままに高校受験をしました。しかし、高校に入ってから授業、特に農業に関する授業は、中学校までのものとは一変し、非常に興味をひかれるものばかりでした。そして、授業で知識が増える度に楽しみを覚えるようになったところ、進学したいという意識が芽生えてきました。

最初は、専門学校に進むことを目標にしていました。お菓子作りが好きだったので、調理師や製菓の学校を考えましたが、なかなか絞れませんでした。そこで、私はもともと何が好きだったのか自分のこれまでを振り返ってみたときに、幼いときに寄生虫に興味を持ち、自分なりにいろいろ調べていたことを思い出しました。これが「自分から学習したい」と思った学習意欲の原点だったのだと思います。そして、農学部のある四年制の大学に進み、寄生虫の研究を深めたいと考えるようになりました。

進学を決めるときには、その進路先についてよく調べることが大事だと思います。そこに、自分の目標をかなえられる環境があるのか、そこではどのような人材を求めているのか。早い段階で自分を知ることが重要で、その進路先に届くように自分を磨いていくしかありません。

結果的に私は第一志望の大学には届かず、第二志望の農大に進むことになりましたが、自分の選んだ道に最善を尽くしたことは後悔していません。また、自分が研究したいと考えていることを怠るつもりもありません。進んだ道で、自分だけの花が開くようにまたがんばっていきたいと思います。後輩の皆さんも、悔いの無い進路選択ができるようにがんばってください。